

令和7年度

牛島学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

○ICTを活用した個別最適な学びと、協働的な学びの実現。
○児童が自尊感情を高め、主体的に取り組む学習活動の実現。

校長

大楠 秀明

学力向上推進員

河野 雅代

【各校の取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉え、取組状況の把握を行う。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○基礎的・基本的な知識・技能が身に付いており、与えられた課題にも真面目に取り組める児童が多い。</p> <p>●長い文章を読み取ったり書いたりすることに課題がある。</p> <p>●語彙が少ない。</p>	<p>・文章を読み、大まかな内容を把握することができる。</p> <p>・読書に進んで取り組むことができる。</p>	<p>・何が書かれているかを捉えさせる為、教科書にアンダーラインを引かせる。</p> <p>・文章を要約する機会を増やす。</p> <p>・辞書や「ことばのたからばこ」の活用を促したり、環境を整えたりする。</p>			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○他者の意見を受け入れ、広げることができる。また、既習事項を活用できている。</p> <p>●考えを表現・説明することができていない。また、考えを深めることができていない。</p>	<p>・自分の考えを他者に表現することができるようになる。</p> <p>・自分の考えていることを更に深められるようになる。</p>	<p>・自分の考えを表現するためにタブレットやホワイトボード、書画カメラなどを活用する。</p> <p>・友だちの発言に対して「なぜ?」「どうして?」の発問をして、児童の考えを深めさせる。</p>			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
<p>○授業に真面目に一生懸命取り組むことができる。また、家庭学習の提出率も高い。</p> <p>●自分の考えを持ち、進んで発表する児童が固定されている。</p>	<p>・各教科の学習に主体的に取り組むことができる。</p> <p>・自分の考えを持ち、進んで発表し、お互いの考えを知ることができる。</p>	<p>・児童が集中して学習できるように、「よりよく学ぶための7つの約束」を徹底する。</p> <p>・自分の考えを発表する機会を授業中により多く設定する。</p> <p>・ポジティブな行動支援(PBS)に基づく授業づくりと生徒指導をする。</p>			